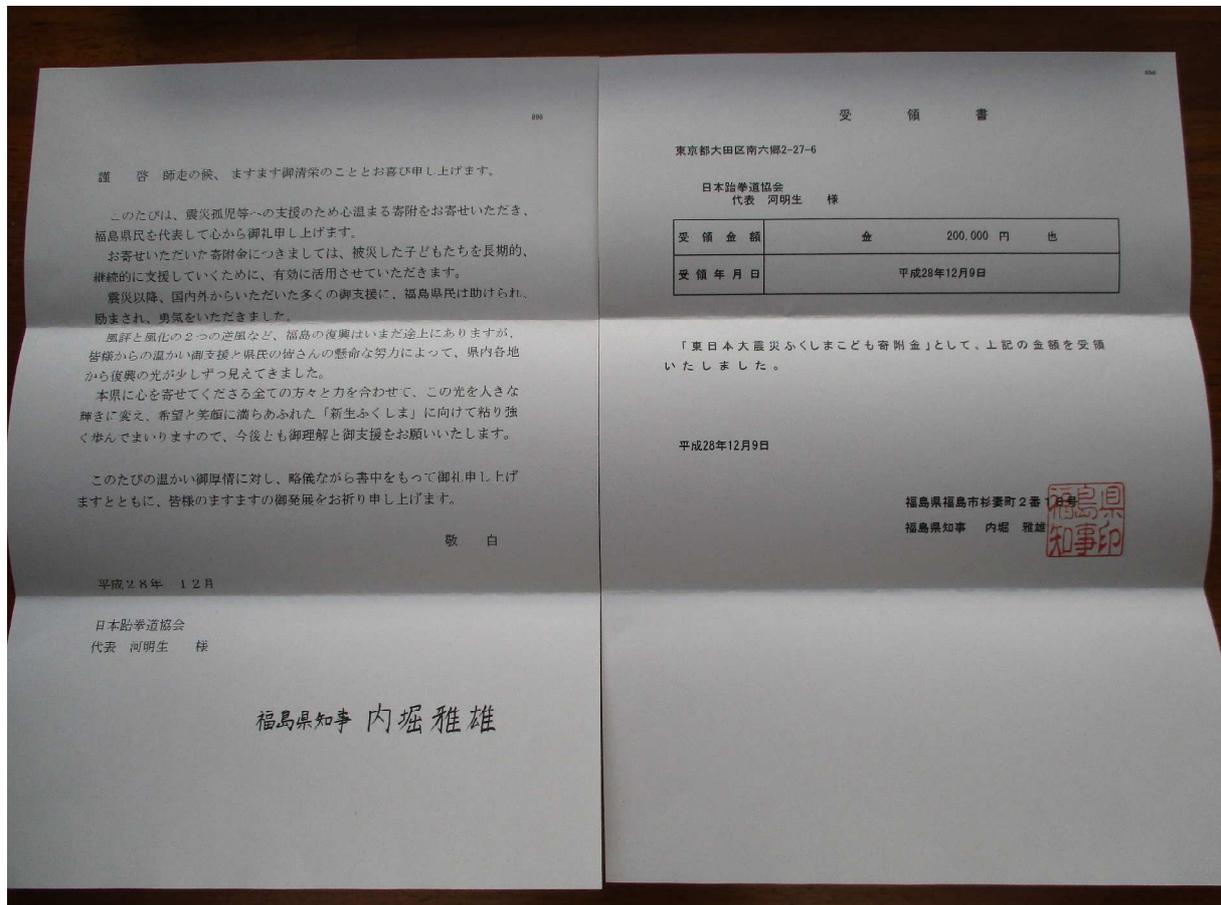


## JTAトピックス 2016年12月

2016（平成28）年12月9日、日本テコンドー協会は、第27回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会パンフレット裏表紙に記載した「JTA宣言」どおり（下記参照）、福島県管轄「東日本大震災ふくしまこども寄附金」へ寄附致しました。



### 日本テコンドー協会（JTA）宣言

日本テコンドー協会  
会長 河 明生

日本テコンドー協会は、福島県・福島子供寄附金（震災で親を亡くした子供達への奨学金等支援基金）へ毎年20万円を5年連続寄付しています。

今後18年間、全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会収支が、黒字赤字に拘わらず持続することを宣言します（震災時の胎児が出生し大学を卒業する迄、23年間持続します）。

日本は地震大国であり、地震のない地域はありません。誰でも被災者になりうる客観的状況にあります。

大地震やそれに伴う大津波は天災であり、人智で防ぐことはできません。

しかし、福島県は他の被災地とは異なり

「原子力発電安全神話」をねつ造した国家的詐欺の  
被害者であり、未だ放射能の恐怖に脅かされています。  
つまり天災に加えて人災を被ったのです。

当該東京電力福島原子力発電所は、

JTAの発祥地・東京、基盤といえる神奈川県への電力を供給することを目的に作られました。

我々はこの事実を忘れてはならないと考えます。

原子力発電は日本経済の癌であり、

日本のエネルギー政策・産業におけるアヘンです。  
根絶を主張します。